

公益財団法人あいちコミュニティ財団

2017年度 事業報告書

【1】当年度の概要

2017年度もこれまでに引き続き、「県内の地域課題を『見える化』し、その解決に挑む市民公益活動団体（NPO）へ“志金”を融通することで、安心できる地域の未来をつくる」ことを目的に、愛知県内の地域課題の解決に取り組む団体に対する資金等の提供を中心に、各種支援プログラムの提供、情報の発信・提供を行いました。

一方で、事業の拡大とともに労務問題に代表される経営管理上の問題が表面化し、当財団は大きな岐路に立たされました。

上記の課題に財団全体として対処するべく、財団の各機関による対応を行いました。理事会では、2017年9月に経営上の課題に理事全体として対処するべく常務理事会を設置した他、役員体制について議論が行われました。一方、評議員会も経営課題の解決に動き、9月に開催された臨時評議員会により組織改革委員会が設置されました。そして、11月に開催された臨時評議員会における組織改革委員会からの報告に基づき、12月に全理事が交代（再任含む）、前代表理事も辞任しております。このうち2018年1月に新しい代表理事が就任し、本格的に新体制が発足しました。なお、上記の常務理事会は2018年1月以降毎月開催しております。

上記の事態は事業の実施にも多大な影響を及ぼし、2018年1月以降、新規の寄付募集及び一部の事業（事業指定プログラム「ミエルカ」、テーマ提案プログラム「エンタク」など）の実施を中止しております。一方、2017年12月末現在で実施途中であった事業については、委託先や支援先等に不利益をもたらさないよう業務の確実な継続及び実施を図りました。

このような非常に厳しい状況ではありますが、当年度に実施することができた事業の結果は下記のとおりとなりました。

当年度に募集した寄付の総額は5,799千円となり、このうち公益目的事業に関連する寄付の募集総額は3,749千円となりました。左記と前年度以前に募集した寄付を財源として、助成対象となった10事業に対して総額3,298千円の資金提供を行いました。このうちの5事業について助成先団体の助成事業実施に対して伴走支援の提供を行いました。

各種支援プログラムについては、行政及び企業から受託した3つのプログラムを実施し、その結果、11の団体等を対象に伴走支援等の提供を行いました。

また、情報の発信・提供については、前年に引き続き「年次報告書『あいちの課題深掘り book』2016」を発行し、支援先団体の実施した助成事業による成果の発信・共有を図りました。この他、セミナー等の実施（開催回数のべ12回）、「ワガコトサロン」（計4回）などの開催を通じて、情報の発信及び提供を行いました。

【2】組織運営に関する事項

1. 概要

当年度は、財団設立から4年を経過したことから、評議員及び監事の改選を行いました。また、理事についても前回の改選から2年を経過したため、同様に改選を行いました。

一方で、労務、経理等をはじめとした経営管理上の課題が表面化したため、評議員会の決議に基づき、12月に全ての理事が辞任し、新たな理事（再任を含む）が就任することとなりました。

上記の課題に対処するため、年明け以降2018年度にわたり規程類の整備をはじめとした労務、経理等のしくみの整備とともに事業執行のしくみの確立を図ります。当年度内に、就業規則及び賃金規程の改訂を実施済みです。

2. 評議員会の開催状況

評議員数は、2017年6月19日まで12名、6月19日から12月31日まで14名、2018年1月1日から13名です。

開催日	出席	審議事項	報告事項
6月19日	評議員7名 理事1名	<ul style="list-style-type: none">2016年度事業報告及び決算役員の報酬等の総額の範囲評議員及び理事及び監事の選任	2017年度事業計画及び予算
9月25日	評議員9名 理事4名	<ul style="list-style-type: none">組織改革委員会の設置今後の組織体制（常務理事会の設置など）	
11月27日	評議員8名 理事4名 監事2名	<ul style="list-style-type: none">理事の選任	—
1月10日 (書面決議)	評議員13名	<ul style="list-style-type: none">理事の選任	—

3. 理事会の開催状況

理事数は、2017年6月19日まで9名、6月19日から12月10日まで7名、12月10日から2018年1月10日まで6名、1月10日から7名です。また、監事数は3名です。

開催日	出席	審議事項	報告事項
5月30日	理事6名 監事1名	<ul style="list-style-type: none">評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について評議員及び理事及び監事の選任について	

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員の報酬等の総額の範囲 ・ 選考委員 2017-2018 ・ 規程類（印章取扱規程、文書管理規定、特定個人情報等取扱規程） ・ 2016 年度事業報告 ・ 2016 年度決算 	
6 月 19 日	理事 4 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2017～2018 年度の代表理事及び常務理事の選定 ・ 2017～2018 年度の副代表理事の選定 	
8 月 29 日	理事 6 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規程類 ・ 今後の組織体制 ・ 臨時評議員会の開催 	
11 月 8 日	理事 6 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の組織体制 ・ 常務理事会規程 ・ 2017 年度財務状況 	
12 月 6 日	理事 6 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2017～2018 年度の代表理事及び常務理事の選定 ・ 2017～2018 年度の副代表理事の選定 ・ 2017～2018 年度の専務理事の選定 ・ 常務理事会規則 ・ 専務理事の報酬 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全理事の辞任 ・ 新理事の就任
12 月 28 日 (書面決議)	理事 7 名 監事 3 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書面決議による評議員会の開催 	
1 月 10 日	理事 4 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表理事の選定 ・ その他 	
3 月 20 日	理事 4 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年度事業計画書及び収支予算書について ・ 就業規則、賃金規則及び旅費規程の改訂および育児・介護休業等に関する規則の制定について ・ 事務所の移転について 	

【3】事業に関する事項

前年度に引き続き、市民公益活動団体等の組織基盤を強化し、安心できる地域の未来を創造することを目的として、以下の事業を行いました。なお、一部の事業について当年度途中で中止または中断しております。

1. 公益目的事業

(1) 市民公益活動を行う団体等に仲介・提供するために、必要な資金等の資源を募り、確保する事業

ア. 「事業」への寄付募集（寄付総額 61,000 円）

市民公益活動団体からの事業計画を公開して賛同者を募り、寄付の受け入れを行いました。当該寄付は、下記（2）ア. の「事業指定プログラム『ミエルカ』」の助成原資となります。今年度は下記 1 事業について寄付募集を実施しました。また、助成団体も同時に寄付募集を実施しており、団体の寄付募集に対して「NPO の“志金”調達を応援するボランティアスタッフ『フレンドレイザー』」による伴走支援が行われます。

なお、2017 年 12 月末にて下記事業に対する伴走支援の実施を中止したため、当該寄付募集は終了時期を大幅に早め 2017 年 12 月末までとなりました。

事業名	募集期間	募集額
障がいを持つ子どもと親の野外チャレンジプロジェクト	12 月 3 日～12 月 31 日	61,000 円

助成事業の募集は 4 事業であり、最終選考の結果上記の 1 事業が助成対象事業となりました。

日付または期間	内容	会場
7 月 3 日～8 月 25 日	助成（寄付募集）事業募集期間	
7 月 30 日	募集説明会@名古屋	株式会社 Misoca 内セミナールーム「木曾川」
8 月 2 日	募集説明会@半田	半田市市民交流センター
8 月 3 日	募集説明会@刈谷	刈谷市民ボランティアセンター
8 月	個別相談会	当財団事務所
9 月 22 日	最終選考会	名古屋市市民活動推進センター
10 月～12 月	寄付募集の支援期間	
10 月 8 日	オリエンテーション&集合研修（1）	当財団事務所
10 月 9 日	集合研修（2）	名城大学 ナゴヤドーム

	((4) ア. の「株式会社 PubliCo の山元圭太さんと学ぶファンドレイジング研修～寄付募集計画づくり～」と併催)	前キャンパス 西館2階 社会連携ゾーン shake
12月2日	寄付募集計画発表会	展示館ブラザーコミュニケーションスペース
12月3日	寄付募集開始	

イ. 「テーマ」への寄付募集（寄付総額 3,688,771 円）

① マルチステークホルダーの提案により設置した基金

前年度に引き続き、「あいち・なごや子どもとつくる基金」「あいちの課題深掘りファンド」「ちた型 0～100 歳のまちづくり基金」の 3 つの基金について、賛同者を募り、寄付の受け入れを行いました。

なお、2018 年 1 月以降、新規の寄付募集を停止しております。再開時期は、2018 年 3 月末の時点では未定です。

基金名	募集額
あいち・なごや子どもとつくる基金	727,628 円
あいちの課題深掘りファンド	602,000 円
ちた型 0～100 歳のまちづくり基金	54,000 円
合計	1,383,628 円

② 企業等の寄付により設置した基金

当年度は、従来から設置している「東海ろうきん傍楽ファンド」（資金提供元：東海労働金庫）及び「住友理工あったか未来基金」（資金提供元：一般財団法人住友理工あったか基金）の 2 つの基金について、追加的な寄付の受け入れを行いました。

なお、「東海ろうきん傍楽ファンド」の設置は、当年度にて終了いたしました。

基金名	募集額
東海ろうきん傍楽ファンド	805,143 円
住友理工あったか未来基金	1,500,000 円
合計	2,305,143 円

ウ. 「賛助会員」の募集（計 1,926,000 円）

前年度に引き続き、当財団の目的に賛同し、事業運営にご協力いただく「賛助会員」を募集しました。当年度の賛助会員数は 162 名、賛助会員会費の募集額は 1,926 千円でした。

エ. 法人運営への寄付募集（計 123,277 円）

上記の寄付及び賛助会員の募集のほかにも、当財団の運営へご協力くださる方の寄付を受け入れました。

(2) 市民公益活動を行う団体等に対し、助成等を行う事業

ア. 事業指定プログラム「ミエルカ」(1 事業・助成総額 61,000 円)

市民公益活動団体からの事業計画を公開し、「(1) ア. 「事業」への寄付」にて募集した資金を原資として、事業に対する助成を行いました。当年度の助成（寄付募集）事業は、下表のとおりです。

なお、2017 年 12 月末にて下記事業における当財団による寄付募集及び伴走支援の実施を中止しました。当年度は、助成（寄付募集）事業決定から寄付募集中止までの間に募集した寄付を原資として助成を行いました。

事業名	助成額
障がいを持つ子どもと親の野外チャレンジプロジェクト	61,000 円

イ. テーマ提案プログラム「エンタク」(2 テーマ・計 1,280,000 円)

「1. イ. 「テーマ」への寄付募集 ①マルチステークホルダーの提案により設置した基金」である「あいち・なごや子どもとつくる基金」、「あいちの課題深掘りファンド」及び「ちた型 0~100 歳のまちづくり基金」にて募集した資金を原資として、事業に対する助成を行いました。当年度の助成（寄付募集）事業は、下表のとおりです。

なお、本年度は、「ちた型 0~100 歳のまちづくり基金」からの助成は実施いたしませんでした。また、2017 年 12 月末にて当年度の事業実施を中止しました。

基金名	事業数	助成額
あいち・なごや子どもとつくる基金	3 事業	900,000 円
あいちの課題深掘りファンド	2 事業	380,000 円

「あいち・なごや子どもとつくる基金」(Hop) 事業及び「あいちの課題深掘りファンド」事業においては、前年度中に選考された各 2 事業（計 4 事業）が助成対象となり、いずれも 2017 年 4 月から 6 月にかけて調査事業が行なわれました。また、助成事業の実施にあたっては、「課題の深掘りをサポートするボランティアスタッフ『モグラ一』」による伴走支援が行われました。（2 基金共催で実施）

日付または期間	内容	会場
4 月～6 月	調査事業の支援期間	
4 月 1 日	集合研修	展示館ブラザーコミュニケーションスペース
4 月 22 日	調査計画発表会	展示館ブラザーコミュニケーション

		スペース
6月25日	周年記念イベント「イロリバ」	名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス 北館 1F MU GARDEN TERRACE
8月6日	振り返り会	名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス 西館2階社会連携ゾーン shake

一方、次年度に行なわれる助成事業の募集及び選考は当年度中に実施する予定でしたが、「あいち・なごや子どもとつくる基金」(Hop) 事業及び「あいちの課題深掘りファンド」事業ともに、当年度における助成事業の募集を中止しました。

また、上記の「あいち・なごや子どもとつくる基金」(Hop) 事業の助成対象であった1事業については、引き続き「あいち・なごや子どもとつくる基金」(Step) 事業の助成対象となっており、2018年度にわたって助成事業を実施中です。

「ちた型 0~100歳のまちづくり基金」については、当年度資金助成は行いませんでしたが、前年度の助成対象事業1事業について前年度から引き続き伴走支援を行いませんでした。

日付または期間	報告会名称	会場	参加者数
1月~12月	助成事業期間		
7月2日	「ちた型 0~100歳のまちづくり基金」2017年度助成事業中間報告会	東浦町森岡コミュニティセンター	22名
1月21日	成果報告会(地域円卓会議)	東浦町森岡台自治会集会所	45名

ウ. 冠プログラム「カンムリ」(2テーマ・計1,957,143円)

「1. イ. 「テーマ」への寄付募集 ② 企業等の寄付により設置した基金」である「東海ろうきん傍楽ファンド」及び「住友理工あったか未来基金」にて募集した資金を原資として、事業に対する助成を行いました。

基金名	事業数	助成額
東海ろうきん傍楽ファンド	2事業	805,143円
住友理工あったか未来基金	2事業	1,152,000円

「東海ろうきん傍楽ファンド」は、「東海労働金庫の『働く人の夢と共感を創造する』という経営理念から、働く人を応援する市民公益活動団体(NPO)をサポートするしくみ」として設置された基金です。当年度は3事業の応募があり、選考の結果2事業が助成対象となりました。なお、「東海ろうきん傍楽ファンド」の基金設置が当年度で終了したため、助成事業も当年度で終了いたしました。

日付または期間	内容	会場
5月～6月	助成事業募集及び選考期間	
5月31日	募集説明会（「半田」会場）	半田市市民交流センター
6月2日	募集説明会（「一宮」）会場	一宮市市民活動支援センター
6月	個別相談会	当財団事務所
7月14日	プレゼンテーション研修	東海労働金庫本店別館
7月31日	最終選考会	東海労働金庫本店
8月～1月	助成事業期間	
2月28日	「東海ろうきん傍楽ファンド」 2017年度助成事業報告会	東海労働金庫本店

また、「住友理工あったか未来基金」は、「住友理工グループが目指す『社会課題への積極的取り組みを通じて社会的価値を生み出し、それとともに企業価値の向上に寄与する』という社会貢献活動の理念から、深刻化する子どもの問題解決に取り組む市民公益活動団体（NPO）をサポートするしくみ」として設置された基金です。当年度は4事業の応募があり、選考の結果2事業が助成対象事業となりました。

日付または期間	内容	会場
7月～9月	助成事業募集期間	
7月30日	募集説明会（「名古屋」会場）	株式会社 Misoca セミナールーム「木曾川」
8月2日	募集説明会（「半田」会場）	半田市市民交流センター
8月3日	募集説明会（「刈谷」）会場	刈谷市民ボランティア活動センター
8月	個別相談会	当財団事務所
9月15日	プレゼンテーション研修	名古屋市民活動推進センター
9月20日	最終（公開プレゼンテーション）選考会	住友理工株式会社
10月～3月	助成事業期間	

※助成事業の成果報告会は、翌年度に開催いたします。

この他、上記ア. 及びウ. の各基金による前年度助成事業について、事業の成果を発信・共有するため、「助成事業報告会」を開催いたしました。

開催日	報告会名称	事業数	参加者数
5月25日	「住友理工あったか未来基金」2016年	2事業	10名

	度助成事業報告会		
11月25日	事業指定プログラム「ミエルカ」2016 年度助成事業中間報告会	4事業	28名

(3) 市民公益活動を支援するために、不動産等の資源を活用する事業

ア. 「特定寄付信託」等の開発・販売

当財団では、「大切な遺産を安心できる方法で信頼できる団体に寄付をしたい」という想いをサポートするため、2016年9月より「遺贈寄付相談センター」を設置・運営しております。当年度の「遺贈寄付相談センター」への問い合わせ数は8件でした。

また、遺贈寄付を検討する人への適切な助言をする専門家の存在の重要性が明らかになっていることから、法務、税務及び信託の専門家を講師に迎えて2017年12月11日に「士業向け遺贈寄付研修」を当財団の主催により開催しました。参加者は14名でした。

(4) 前各号に掲げるもののほか、市民公益活動を行う団体等に対し、その経営に必要な資源を提供する事業

ア. 「セミナー」「ワークショップ」等の開催：

市民公益活動を行う団体等の経営に資する情報・ノウハウ等を提供するため、参加者を公募してセミナー、ワークショップ等を開催しております。

開催日	セミナー・ワークショップ名	会場	参加者数
5月12日 (※(6)ア.の「ワガコトサロン」として開催)	「休眠預金活用時代に備える2日間」Day1～「組織評価」「社会的インパクト評価」への第一歩～	名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス 西館2階社会連携ゾーン shake	41名
5月13日	「休眠預金活用時代に備える2日間」Day2、NPO 法人事務力検定 & 事務局セミナー in あいち～「事務能力向上」への第一歩～	愛知淑徳大学 星が丘キャンパス	18名
7月13日	あいちコミュニティ財団流「ボランティアマネジメント講座」～お金を投じてまでボランティアに参加するのはなぜ?～	ウインクあいち会議室	25名
7月30日	ロジックモデルづくり研修	株式会社 MISOCA 会議室	9名
10月9日	株式会社 PubliCo の山元圭太さんと学ぶファンドレイジング研修～	名城大学 社会連携ゾーン shake	9名

	寄付募集計画づくり～	ナゴヤドーム前キャンパス	
12月11日	NPO 向け遺贈寄付研修	日本陶磁器センタービル 2F 第3会議室	16名

上記のほか、トヨタ NPO カレッジ「カイケツ」講座（全6回）の開催に協力いたしました。

回	開催日	会場	参加団体・者数
1	5月18日	トヨタ産業技術記念館	18団体
2	5月19日	トヨタ産業技術記念館	18団体
3	6月15日	ウインクあいち	18団体
4	7月13日	ウインクあいち	18団体
5	8月3日	ウインクあいち	18団体
6	11月28日	トヨタ産業技術記念館	18団体及び一般参加

さらに、子どもたちを対象に、「寄付を考える」ことを通じて社会とのつながりや参画について一緒に学んでいくワークショップ型の出張授業「寄付の教室」を、愛知県教育委員会及び名古屋市教育委員会の後援のもと開催しました。

開催日	ワークショップ名	学校名	参加者
12月20日	寄付の教室 in 名古屋 2017～「社会に役立つ」お金の使い方を体験しよう～	名古屋市立高蔵小学校	小学4年生 41名

イ. 支援プログラムの実施：

○豊田市「市民発！ミライ☆チャレンジプロジェクト」の企画・運営（支援先5団体）

2016年度から始まった豊田市の「市民発！ミライ☆チャレンジプロジェクト」の企画・運営を、前年度に引き続き受託しました。

当事業は、「誰もが幸せに暮らせる社会を『ミライのフツー』にしていくため、市民指向の新たな発想で地域や社会の課題解決に挑む市民提案事業を支援」することを目的としたもので、当年度においては「市民提案事業に対し伴走型の事業のブラッシュアップ支援」を行いました。当財団の役割は、多様な市民による事業支援（「ミライサポーター」）と事業実施団体とのコーディネートをはじめとして、当財団の他の事業との親和性の高いものとなっています。

当年度は、選考会において採択された4事業（いずれも2016年度から継続）に対して、ミライサポーターによる支援が行われました。当該支援に携わったミライサポー

ターは 22 名でした。

日付または期間	内容	会場
4 月～6 月	採択事業募集選考及びミライサポーター募集期間	
4 月 23 日	集合研修（1）（ロジックモデル研修）	とよた男女共同参画センター
5 月 27 日	集合研修（2）（ロジックモデル研修）	とよた男女共同参画センター
6 月 18 日	採択事業選考会 ミライサポーター募集説明会	とよた男女共同参画センター
6 月～2018 年 3 月	事業のブラッシュアップ支援期間	
7 月 9 日	キックオフ研修	とよた市民活動センター
9 月 9 日	仮想理事会①	とよた男女共同参画センター
12 月 9 日	仮想理事会②	とよた市民活動センター
3 月 4 日	プレゼン研修	とよた市民活動センター
3 月 24 日	成果報告会	豊田市福祉センター

○「デンソープロボノプログラム」の企画・運営（支援先 3 団体）

2016 年度から始まった株式会社デンソーの「デンソープロボノプログラム」の企画・運営を引き続き受託しております。

当事業は、『課題解決』を仕事の定義とする株式会社デンソーの『デンソー流仕事の進め方』で、NPO の課題解決力の向上を目指すプログラムです。プログラム期間中、支援先団体は、デンソー社員数名からなるチームによる支援を受けながら、地域や社会の課題に関する調査と解決策（事業計画）の検討を行います。事業内容は、支援先及びプロボノの募集とプロボノによる支援の 2 つに大別され、さらにプロボノの支援は、上記のとおり課題調査の期間（「課題調査フェーズ」）と解決策（事業計画）検討の期間（「解決策開発フェーズ」）の 2 段階に分かれます。いずれも当財団の事業で培った経験を発揮できる業務内容となっております。

当年度は、支援先募集に対して 10 団体の応募があり、その中から最終選考を通過した 3 団体に対して、プロボノによる支援が行われました。また、当該支援に携わったプロボノは 16 名でした。

日付または期間	内容	会場
5 月～9 月	支援先及びプロボノ募集期間	
6 月 3 日	支援先募集説明会@名古屋	デンソー 名古屋オフィス
6 月 5 日	支援先募集説明会@豊橋	豊橋商工会議所
6 月 12 日	支援先募集説明会@刈谷	デンソー 本社
6 月 23 日	プロボノ募集説明会	デンソー 本社
7 月 22 日	支援先事前研修（1）	デンソー 名古屋オフィス

8月26日	支援先事前研修(2)	デンソー 名古屋オフィス
9月16日	最終選考会	デンソー 名古屋オフィス
9月～	プロボノ支援期間	
9月～12月	課題調査フェーズ	
9月16日	プロボノ事前研修	デンソー 名古屋オフィス
10月1日	キックオフ研修	デンソー 名古屋オフィス
10月21日	調査計画発表会	デンソー 名古屋オフィス
12月16日	調査結果報告会	デンソー 名古屋オフィス
12月～3月	解決策開発フェーズ	
3月31日	事業計画発表会	デンソー 名古屋オフィス

○愛知県「あいち・ウーマノミクス推進事業『女性起業家育成・促進事業』(女性ビジネスプランコンテスト開催事業)」の企画・運営(支援先3名)

2016年度から始まった愛知県の「あいち・ウーマノミクス推進事業『女性起業家育成・促進事業』(女性ビジネスプランコンテスト開催事業)」の企画・運営を前年度に引き続き受託しました。

当事業は、「若い世代の女性の職業選択の幅を広げるため、女性の雇用吸収率の高いサービス産業や女性が起業しやすいソーシャルビジネス等、新たなビジネスモデルを普及し、それらを担う女性の起業家を育成・促進すること」を目的としたものです。事業内容は、女性ビジネスプランコンテストと、当該コンテストにおける受賞者に対するハンズオン支援の2つのフェーズからなり、当財団の事業で培った経験を発揮できる業務内容となっております。

「女性ビジネスプランコンテスト」開催業務の実施状況は下表のとおりです。最終審査会参加者8名の中から優秀賞受賞者3名が選ばれております。

日付または期間	内容	会場	参加者数
7月～10月	「女性ビジネスプランコンテスト」開催業務期間		
7月13日	第1回応募検討者向けフォローアップセミナー	オフィスパーク伏見・りそな名古屋ビル	7名
7月19日	第2回応募検討者向けフォローアップセミナー	ウインクあいち	8名
7月27日	第3回応募検討者向けフォローアップセミナー	愛知県西三河総合庁舎	7名
8月4日	ロジックモデルづくり研修	ウインクあいち	17名
9月26日	最終審査対象者向けブラッシュアップセミナー	日本金融公庫	8名

10月10日	最終審査会・表彰式	愛知県議会議事堂	8名
--------	-----------	----------	----

女性ビジネスプランコンテストの開催に引き続き、優秀賞受賞者である3名の女性起業家に対してハンズオン支援の提供を行いました。支援期間における主な実施事項は、下表のとおりです。

日付または期間	内容	会場
10月～3月	優秀賞受賞者ハンズオン支援期間	
10月30日	キックオフ研修	ウインクあいち
12月5日	東海若手起業塾中間研修見学	
1月15日	中間報告会	ウインクあいち
3月19日	プレゼン研修	ウインクあいち
3月19日	成果発表会	ウインクあいち

(5) 市民公益活動を行う団体等及び資源提供者に対するコンサルティング事業

ア. 「フレンドレイザー」等の募集・育成

「フレンドレイザー」は、「(2) ア. 事業指定プログラム『ミエルカ』」において、NPOの“志金”調達を応援するボランティアスタッフです。当年度の「フレンドレイザー」への参加者は3名でした。

なお、当年度の「ミエルカ」事業が2017年度12月末にて事業中止となったため、フレンドレイザーによる団体支援も2017年12月末までとなりました。

日付または期間	内容	会場
7月～9月	「フレンドレイザー」募集期間	
8月19日	「フレンドレイザー」2017募集説明会	楽々 名駅店
8月21日	同上	当財団事務所
10月～12月	寄付募集の支援期間	
10月8日	オリエンテーション&集合研修(1)	当財団事務所
10月9日	集合研修(2)(ファンドレイジング研修) ((4)ア.の「株式会社PubliCoの山元圭太さんと学ぶファンドレイジング研修～寄付募集計画づくり～」と併催)	名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス 西館2階 社会連携ゾーン shake
12月2日	寄付募集計画発表会	展示館ブラザーコミュニケーションスペース
12月3日	寄付募集開始	

イ. 課題の深掘りをサポートするボランティア「モグラ」等の募集・育成(計24名)

「モグラ」は、「(2) イ. テーマ提案プログラム『エンタク』」で助成対象団体が

行う調査事業において、団体による課題の深掘りをサポートするボランティアスタッフです。

2017年4月から6月まで実施した「あいち・なごや子どもとつくる基金」(Hop)及び「あいちの課題深掘りファンド」の調査事業の支援に携わった「モグラ」は17名でした。「モグラ」の募集は前年度中に行なわれました。

なお、2018年1月からサポートする「モグラ」を募集する予定でしたが、「あいち・なごや子どもとつくる基金」及び「あいちの課題深掘りファンド」の2017年度事業が中止となったため、上記の募集も中止いたしました。

日付または期間	内容	会場
4月～6月	調査事業の支援期間	
4月1日	集合研修	展示館ブラザーコミュニケーションスペース
4月22日	調査計画発表会	展示館ブラザーコミュニケーションスペース
6月25日	周年記念イベント「イロリバ」	名城大学 ナゴヤドーム前 キャンパス 北館 1F MU GARDEN TERRACE
8月6日	振り返り会	名城大学 ナゴヤドーム前 キャンパス 西館2階社会 連携ゾーン shake

ウ. 助成事業の成果を伝えるボランティア「ツムギスト」の募集・育成(計8名)

「ツムギスト」は、「周年記念イベント『イロリバ』」((8)イ.)において、助成事業の成果を伝えるボランティアです。当年度の「ツムギスト」への参加者は22名、うち「イロリバ」への参加者は15名でした。当年度「ツムギスト」参加者の募集は、前年度中に行なっております。

日付または期間	内容	会場
4月8日	「イロリバ」オリエンテーション	展示館ブラザーコミュニケーションスペース
5月21日	「イロリバ」集合研修(1)スピーチブラッシュアップ会	日本陶磁器センタービル 4F多目的ホール
6月11日	「イロリバ」集合研修(2)プレ発表会	日本陶磁器センタービル 4F多目的ホール
6月25日	周年記念イベント「イロリバ」	名城大学 ナゴヤドーム前 キャンパス 北館 1F MU GARDEN TERRACE

8月6日	振り返り会	名城大学 ナゴヤドーム前 キャンパス 西館2階社会 連携ゾーン shake
------	-------	---

エ. 寄付つき商品の開発・紹介に取り組むボランティアスタッフ「ママボノ&パパボノ」の募集・育成（計13名）

「ママボノ&パパボノ」は、「あいち“志金”マルシェ化計画」参加法人の寄付つき商品開発を支援するボランティアです。当年度の「ママボノ&パパボノ」への参加者は5名でした。

当年度に行なった「ママボノ&パパボノ」の募集・育成の主な内容は以下のとおりです。「あいち“志金”マルシェ化計画」の新規参加法人の募集を停止したため、ママボノ&パパボノの活動内容を大幅に変更し、主に現状の「ママボノ&パパボノ」及び「あいち“志金”マルシェ化計画」の課題の洗い出しを行いました。

日付または期間	内容	会場
11月	ママボノ&パパボノ募集期間	
11月15日	ママボノ&パパボノ募集説明会	財団事務所
12月～3月	ママボノ&パパボノ活動期間（ミーティング等）	

(6) 市民公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

ア. 「ワガコトサロン」の実施

「あいちの課題を『我が事』としてとらえ、明日からのアクションを考えよう！」という理念のもと、県内外でリーダーシップを発揮するゲストに話題提供いただくとともに、参加者同士が交流する場として、前年度に引き続き当年度も「ワガコトサロン」を開催いたしました。

日付	テーマ	会場	参加者数
5月12日 (※再掲)	「休眠預金活用時代に備える2日間」Day1～「組織評価」「社会的インパクト評価」への第一歩～	名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス 西館2階社会連携ゾーン shake	41名
7月28日	～「協働環境調査」「起業/創業に関する環境・意向調査」から見える、これからの協働に求められる深化とは?～	展示館 ブラザーコミュニケーションスペース	26名
9月23日	長生きを喜ぶまちへ「愛知への提言」	日本陶磁器センタービル 4F 多目的ホール	7名
11月25日	事業指定プログラム「ミエルカ」	名城大学 社会連携ゾーン	28名

	2016 中間報告会	ン shake ナゴヤドーム 前キャンパス	
--	------------	--------------------------	--

イ. 「年次報告書」の発行

2016年7月から2017年6月までに実施した助成事業の成果と、その他の2016年度の当財団の事業の成果を発信・共有するため、「『あいちの課題深掘り BOOK』2016」を2017年8月に発行しました。

(7) 市民公益活動を推進するための普及・啓発物品、寄附金付物品及び出版物等の販売
ア. 「マニュアル」等の販売

市民公益活動を推進するための情報等の普及・啓発を図るべく、出版物の販売を行いました。当年度は、かねてより販売している「“成果志向”の補助・助成金のすすめ」に加え、前年度に実施した「愛知県協働環境調査」の結果を取りまとめた「2016年度『愛知県協働環境調査』報告書」を発行しております。

当年度の上記出版物の販売及び配布実績は、下表のとおりです。

出版物名	販売及び配布数
“成果志向”の補助・助成金のすすめ	133冊
2016年度「愛知県協働環境調査」報告書	63冊

(8) 前各号に掲げる事業のほか、社会を構成する多様な主体が市民公益活動を支え、担う仕組みの検討及び実施に係る事業

ア. 「周年記念イベント『イロリバ』」

当財団の設立4周年記念イベントとして、「『イロリバ』2017」を2017年6月25日(日)に、名城大学ナゴヤドーム前キャンパス北館1F「MU GARDEN TERRACE」において開催いたしました。「イロリバ」は、「ツムギスト」による団体紹介とフォトストーリー上映、団体自らによるスピーチにより、市民公益活動団体等が実施した助成事業の成果が発表される場です。

当年度の「イロリバ」でスピーチを行った団体は3団体、参加者数は55名（一般参加者のほか、来賓、関係者を含む）でした。

「イロリバ」に関連して実施した業務内容については、「助成事業の成果を伝えるボランティア『ツムギスト』の募集・育成」((6)ウ.)に掲載した表と同一です。

【4】附属明細書

2017年度の事業報告書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項にて規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成しておりません。

以上